

# 広告



寺山広司さんが育てた浜益牛と男爵イモを使った、ここでしか味わえない「こうじの浜益牛コロッケ」(1個100円)と、ボリューム満点の「ガルのシフォンケーキ」(200円)。「ほたてのカレー」(650円)や「ガルのお昼ごはん」(800円)は、すでに売り切れのため撮影できず(残念!)。ぜひ皆さんの目と舌で直接ご確認ください!



**場所** 浜益区浜益77-2  
**営業日時** 9月26日(日)までの金・土・日曜、祝日  
 11:00~日没まで  
**問合せ** ☎79-2319

浜益区にある旧適沢コミセン(ふるさと塾)を活用した「カフェ・ガル」がオープンしました。

企画・運営するのは「ふるさと倶楽部ガル」のメンバー7人。代表の田中照子さんにとって、この建物は「ふるさと塾」と呼ばれていたことから、草木染めサークルで活動していた大切な場所でした。しかし、2年前の3月に閉館。「このまま荒れ果てていくのかと思うと見るに忍びなかった」と当時を振り返ります。

そこで、今度は自分たちで率先して活用しようと、合併後たびたび開かれた地域協議会の中で話し合われましたが、問題は建物の維持管理費をいかにカバーするかということ。そこで田中さんとその仲間たちが考えたのは、ある程度利益を出しながら、地域に長く愛され続ける場「カフェ」を開くことでした。

地元の食材をたっぷり使った「ほたてのカレー」や「ガルのお昼ごはん」などのメニューを用意して、6月9日(水)、

## ラバースオーシャンの地に カフェがオープン

地元の人たちを呼んでプレオープンしたとき、ひときわ田中さんの目を引いたのは地元の高齢者たちの姿でした。「おいしい、おいしい」といってご飯を食べ、くつろぐ様子に「思い切ってやって良かった」と初めて心から思えたといいます。

今年は9月26日(日)までの金・土・日曜、祝日のみ営業。来年からは本格営業を目指します。

日本海を眺めながらゆったりとくつろげる、新スポットの誕生です。

### 配食サービスにも注目!

浜益区内では、配食サービスも実施! 前日までに予約をすればおいしい手作りの味を自宅でも楽しめます。ぜひ活用してみませんか?

**期間** 9月26日(日)までの土・日曜、祝日  
**申込・問合せ** カフェ・ガル ☎79-2319

## ◎ 石狩随想

46

### 石狩新八景

世の移ろう様、さらに激しさを加え、戸惑いすら感じるころあり。まち中から消えるもの、新たに作られたものもあるが、蕭然として変わらぬ風景ほど心を癒やしてくれるものはない。その昔、中国において瀟湘八景として、「落雁」「帰帆」「晴嵐」  
 「暮雪」「秋月」「夜雨」「晚鐘」「夕照」の八つをもつて、それらの頭に地名を載せた。さすが杜甫を生んだ国だ ◆これを迎つて石狩の地に当て、明治30年石狩郡親船町外9町3村の戸長・加藤魯は、「中洲落雁」「船場町帰帆」「若生晴嵐」「高岡暮雪」「八幡宮秋月」「辨天町夜雨」「能量寺晚鐘」「西濱夕照」と雑誌に寄稿している。また、明治32年作の「石雁八勝」の額が尚古社に残されている。平成8年には尚古社で石狩八景の写真絵はがきの一部が発見された。そこには古い石狩の姿を見ることが出来る。そこで今一度現在の石狩に当てて見るのも楽しいと、少しばかり探り出してみた ◆「古川(茨戸川)の落雁」「三線浜に戯れるウインドサーフの帰帆」「浜益適沢ラバース・オーシャンの晴嵐」「厚田神社石段の暮雪」「はまなすの丘の秋月」「弁天歴史通りの夜雨」「紅葉山了恵寺の晚鐘」「石狩湾新港石油ターミナルの夕照」と座らせてみた。もちろん異論のある方もおいでのことは先刻承知のことではあるが、まずは収めてください。合併から5年目、新石狩の姿もすっかり目に浮かぶ昨今です。(市長)